



「いい日旅立ち -卒業式-」 ～たくさんの人に支えられて～

令和4年3月8日、ゆり支援学校道川分教室の卒業式を行いました。
(本ホームページのトピックでも紹介しています。ぜひご覧ください)

今年度の卒業生は、小学部6年のAさん1名です。
感染症予防対策により、ご来賓は1名（あきた病院院長先生）、映像による式辞、保護者のリモート参列等の体制で行いました。

小さな規模での卒業式でしたが、大きな感動ある式になりました。
制服に身を包み、凜々しい雰囲気のAさん。呼名ではこれまでの学習で取り組んできたiPadを使っての返事ができました。卒業生呼名により、担任が傍らにいない状況で返事をする様子を目にした時、卒業式は、学びのまとめの場でもあるのだな、と実感しました。
卒業証書を授与するAさんの姿は、少し誇らしげに見えました。



卒業式が終わってから、保護者とオンラインや窓越しで対面しました。呼び掛けに瞳をキョロキョロさせて応えるAさんが印象的でした。
保護者の方からは「来てよかった。一生心に残る卒業式になりました」とお言葉をいただき、大変うれしく思いました。

素敵な卒業式の背景には、病院関係者の方の心温かい支援があります。
病棟からは、式当日に向けた健康管理等、病棟をあげてサポートをしていただきました。式の臨場感が伝わるリモートとするために、療育指導室の室長さんと指導員さんが、カメラアングルを工夫しながら中継してくれました。式会場には、看護師長さん、担当看護師さん、主任保育士さんが来てくださり、参列してくれました。式終了後は、他部署の多くの職員の方々から、お祝いの言葉をかけてもらいました。

たくさんの人に支えられながら道川分教室の卒業式が行われ、たくさんの祝意の中でAさんの旅立ちを後押しできたように思います。

4月からは中学生、Aさんの新たな成長を期待したいと思います。
Aさん、卒業おめでとう！



【卒業証書授与】



【リモートで】